

23 日 獣 発 第 317 号

平成 24 年 1 月 18 日

地方獣医師会会長 各位

社団法人 日本獣医師会

会 長 山 根 義 久

(公印及び契印の押印は省略)

中国における口蹄疫の新たな発生に伴う 畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、平成 24 年 1 月 10 日付け 23 消安第 5052 号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添写しのとおり通知がありました。

このたびの通知の内容は、①中国における口蹄疫の発生については、平成 23 年 10 月 27 日付け 23 日獣発第 243 号「中国における口蹄疫の再発に伴う畜産関係者等への指導の再徹底について」により、広く畜産関係者等への周知及び農場における飼養衛生管理基準の遵守の徹底等についてお知らせしたところですが、②今般、中国当局から国際獣疫事務局（O I E）に対し、本年 1 月 8 日に新たな口蹄疫の発生が豚で確認された旨、通報があり、中国においては本病ウイルスが常在しており、しばらく発生報告がない地域においても本病ウイルスが存在する可能性があること、③これから春節の時期を迎え、人及び物の移動が激しくなると、我が国へ本病ウイルスが侵入するリスクが高まるため、厳格な水際検疫と危機管理体制の継続が重要であること、③ついでには、別添の中国及び周辺諸国の口蹄疫の発生状況地図を適宜活用の上、引き続き、本病に関する注意喚起及び飼養衛生管理基準の遵守の徹底について、畜産関係者等への指導を、各都道府県畜産主務部長あて通知したので、本会あて円滑な防疫対策の実施につき協力を依頼されたものです。

また、今後も海外における口蹄疫等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を農林水産省ホームページ等を通じて積極的に公表していくので、ご活用いただきたい旨も併せて依頼されたものです。

貴会関係者に周知方お願いします。

記

<農林水産省ホームページ：口蹄疫に関する情報>

URL：http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html

本件内容の問合せ先

日本獣医師会事業担当 長野

TEL 03-3475-1601



23消安第5052号
平成24年1月10日

社団法人 日本獣医師会会長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

中国における口蹄疫の新たな発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、別添のとおり各都道府県畜産主務部長あて通知しましたので、御了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いいたします。





23消安第5052号
平成24年1月10日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

中国における口蹄疫の新たな発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

中国における口蹄疫の発生については、先般、「中国における口蹄疫の発生に伴う畜産関係者等への指導の再徹底について」（平成23年10月14日付け23消安第3702号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）によりお知らせし、広く畜産関係者等への注意喚起及び農場における飼養衛生管理基準の遵守の徹底等を指導いただくよう、お願いしたほか、これまでも当省ホームページ等において本病の発生状況等をお知らせしてきたところです。

今般、中国当局から国際獣疫事務局（OIE）に対し、本年1月8日に本病（0型）の新たな発生が豚で確認された旨、通報されました。その詳細及び発生状況は別添のとおりですが、その状況から、中国においては本病ウイルスが常在しており、しばらく発生報告がない地域においても本病ウイルスが存在する可能性があるものと思われ

ます。
また、これから春節の時期を迎え、人及び物の移動が激しくなると、我が国へ本病ウイルスが侵入するリスクが高まるため、厳格な水際検疫と危機管理体制の継続が重要と考えます。

つきましては、別添の中国及び周辺諸国の発生状況地図を適宜御活用の上、引き続き、本病に関する注意喚起及び飼養衛生管理基準の遵守の徹底について、畜産関係者等への指導をお願いいたします。

なお、今後も海外における口蹄疫等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報を当省ホームページ等を通じて積極的に公表してまいりますので、御活用ください。

<農林水産省ホームページ：口蹄疫に関する情報>

URL：http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html

【OIE情報】中国における口蹄疫（O型）の発生について

2012年1月10日

動物衛生課

中国における口蹄疫の発生について、OIEへ報告がありましたのでお知らせいたします。

新たな発生は1件です。

【概要】

- ・発生数：1件（続報24）
- ・発生日：2011年12月27日
- ・確定日：2012年1月8日
- ・OIEへの報告日：2012年1月9日
- ・血清型：O型

【発生状況】

- ・発生場所：中国 湖北省（同地区での口蹄疫発生は2009年1月13日以来の報告）
- ・臨床症状：あり

動物種	飼育頭数	症例数(罹患率)	死亡数	淘汰数	と畜数
豚	71	24	0	71	0

【診断】

- ・診断施設：Lanzhou Veterinary Research Institute (国立蘭州獣医研究所、OIEレファレンスラボラトリー)

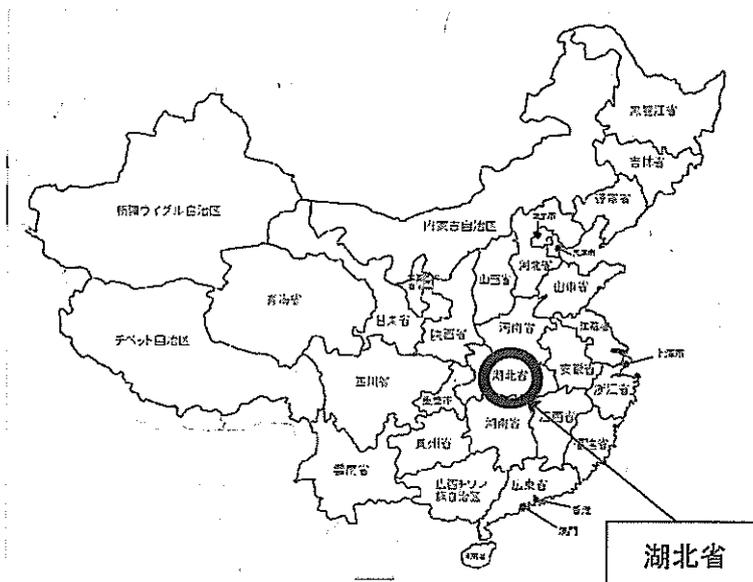
対象	検査	検査結果	診断確定日
豚	赤血球凝集抑制試験（HIT）	陽性	2012/1/8
豚	ELISA	陽性	2012/1/8
豚	リアルタイムPCR	陽性	2012/1/8

【感染源】

不明または調査中

【対応】

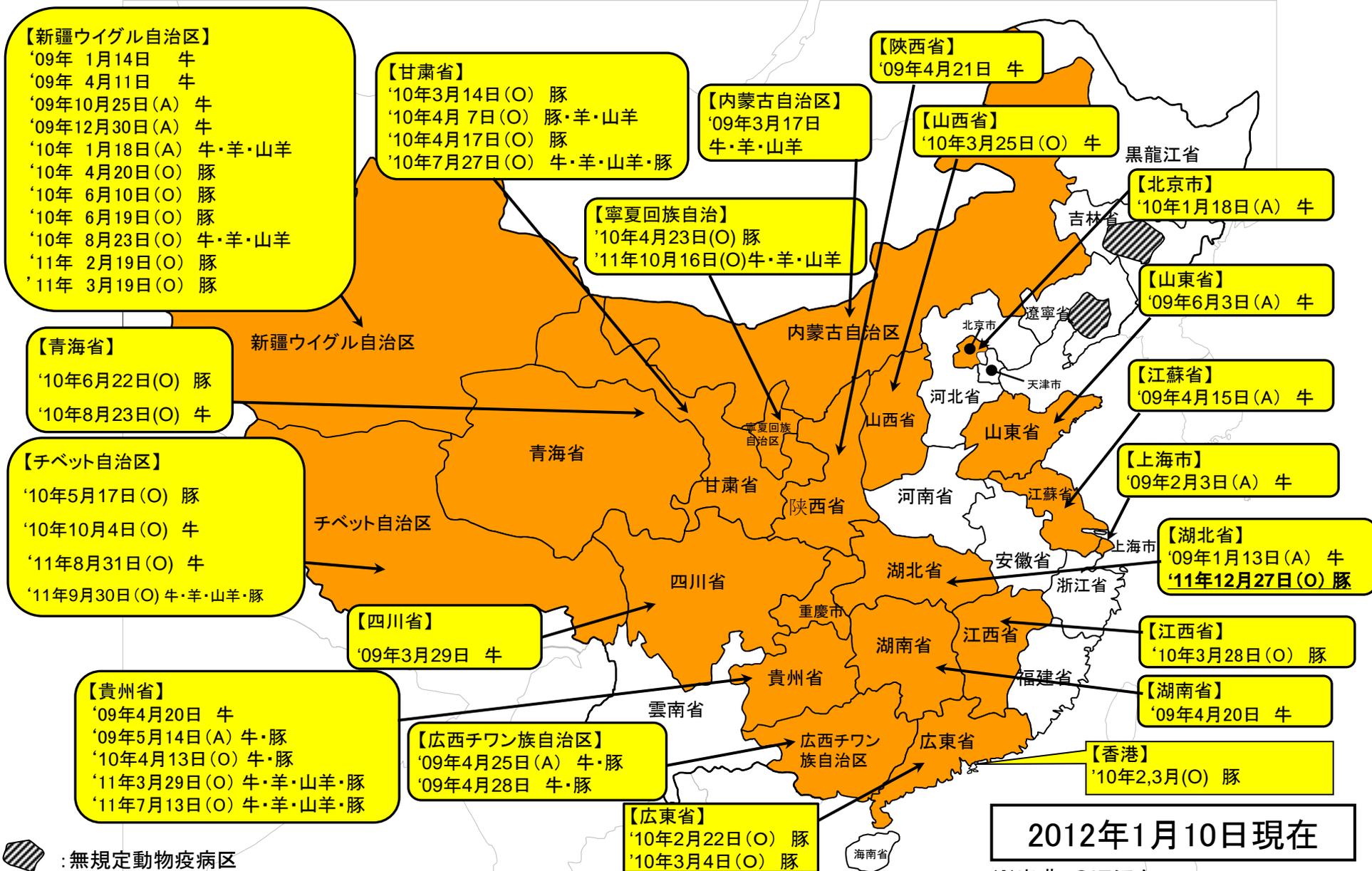
- ・野生宿主の管理
- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・ゾーニング
- ・施設等の消毒、浸漬消毒、噴霧消毒
- ・患畜を治療対象としない



【OIEHP、掲載ページリンク】

http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=11460

中国における口蹄疫の発生状況(2009年1月以降)



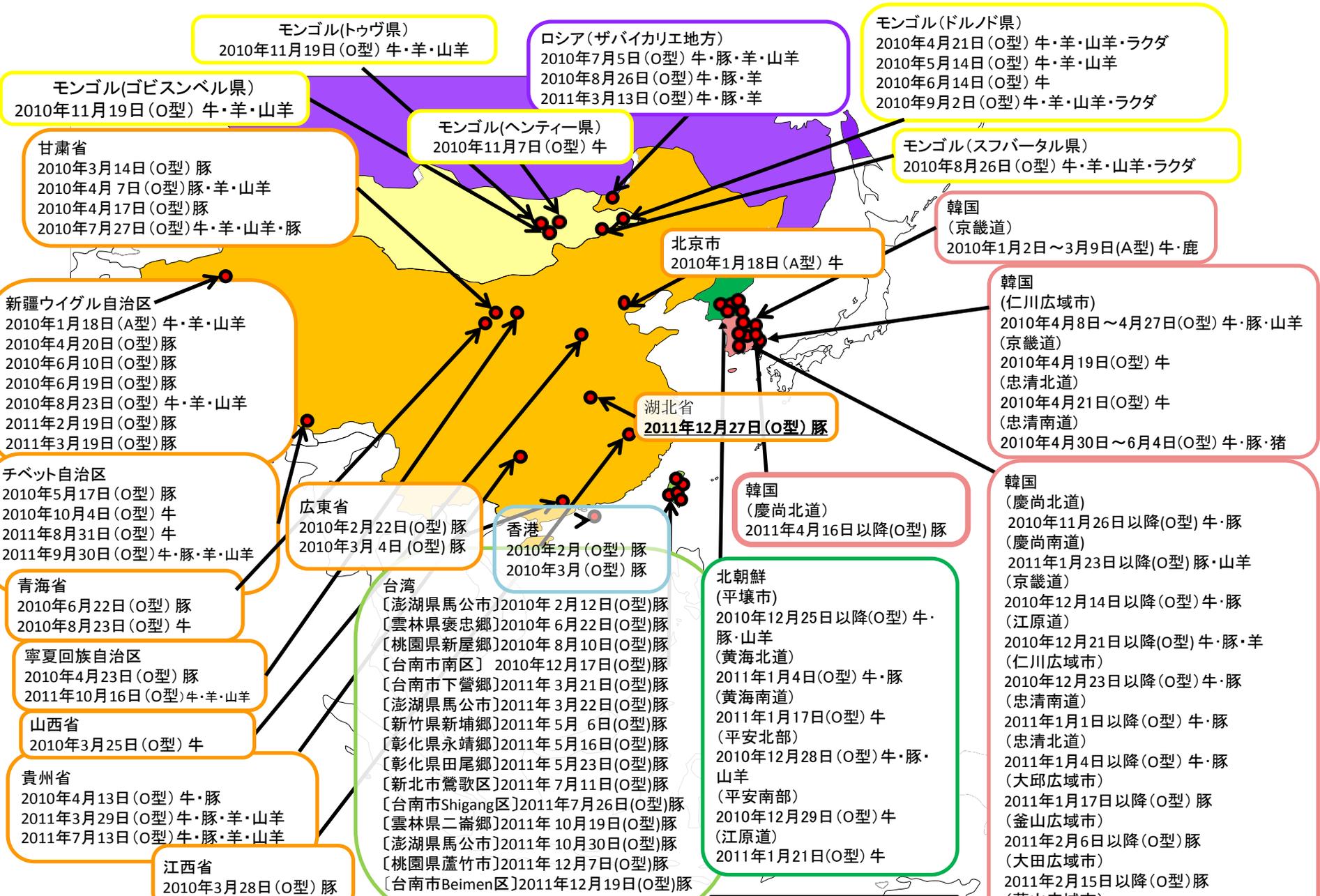
2012年1月10日現在

※出典: OIEほか

: 無規定動物疫病区
 (口蹄疫に関する防疫措置が重点的に講じられている特定の地域)
 ※下線部は更新(2012年1月10日付)情報

※日付は発生日 ※()に型名表示のないものはすべてAsia1型

中国、香港、台湾、韓国、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2010年1月以降の発生）

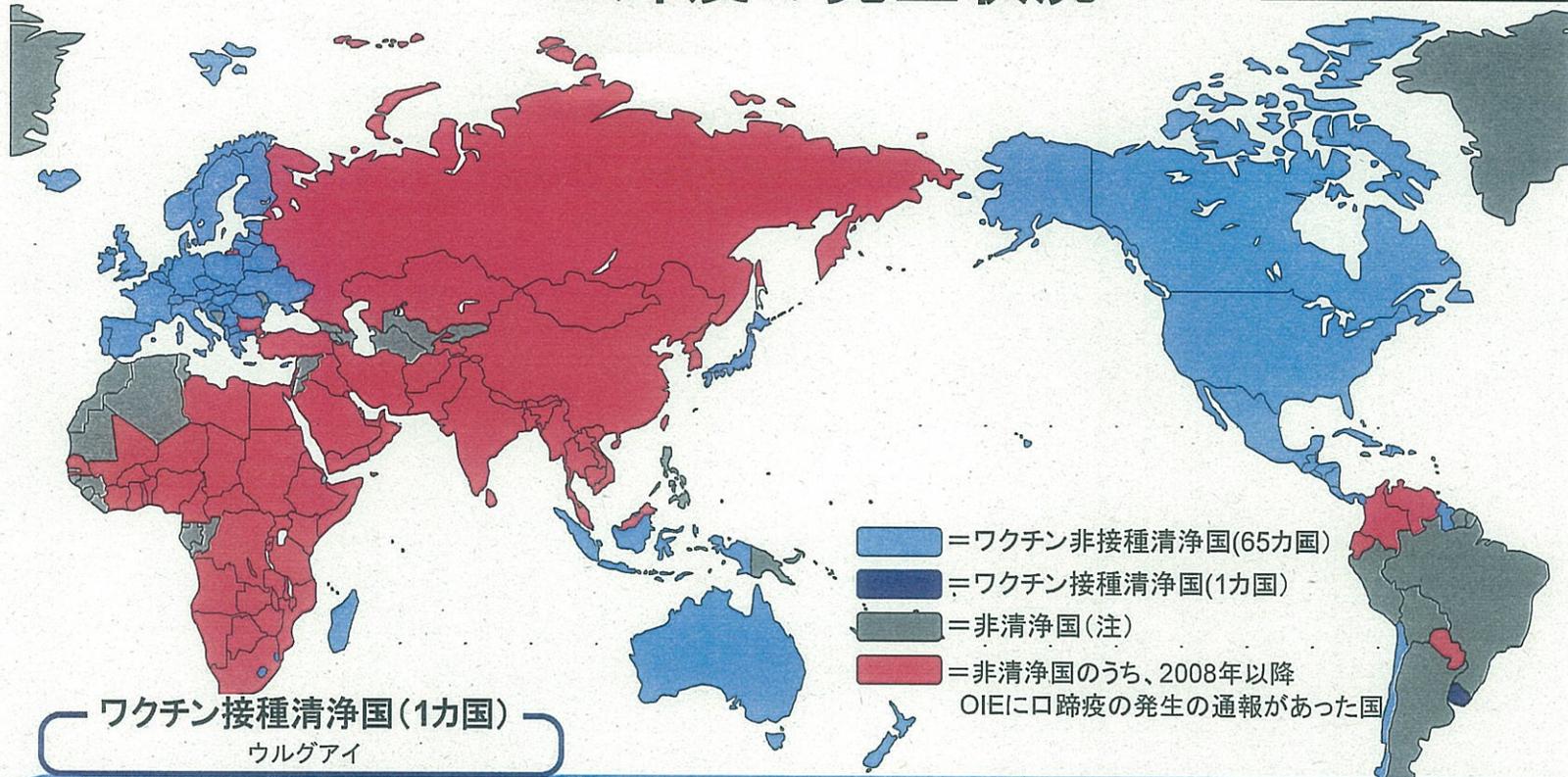


2012年1月10日現在

※ 出典: OIE ほか
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)

口蹄疫の発生状況

2011年1月10現在



ワクチン接種清浄国(1カ国)

ウルグアイ

ワクチン非接種清浄国(65カ国)

～ヨーロッパ(38カ国)～

アルバニア	チェコ	ハンガリー	オランダ	スウェーデン
オーストリア	デンマーク	アイスランド	ノルウェー	セルビア
ベラルーシ	エストニア	アイルランド	ポーランド	モンテネグロ
ベルギー	フィンランド	イタリア	ポルトガル	ボスニア・ヘルツェゴビナ
クロアチア	マケドニア	イタリヤ	ルーマニア	スイス
キプロス	フランス	リトアニア	スロバキア	ウクライナ
英国	ドイツ	ルクセンブルク	スロベニア	
サンマリノ共和国	ギリシャ	マルタ	スペイン	

～アジア(4カ国)～

日本
インドネシア
シンガポール
ブルネイ

～オセアニア(4カ国)～

オーストラリア
ニューカレドニア
ニュージーランド
バヌアツ

～南北アメリカ(15カ国)～

カナダ	ニカラグア
チリ	パナマ
コスタリカ	米国
キューバ	ベリーズ
エルサルバドル	ドミニカ共和国
グアテマラ	ハイチ
ガイアナ	メキシコ
ホンジュラス	

～アフリカ(4カ国)～

スワジランド
マダガスカル
モーリシャス
レソト王国

注1: 上記 非清浄国には、その一部にOIEが公式認定するワクチン非接種清浄地域/ワクチン接種清浄地域を含んでいる国を含む。
(なお、フィリピンは5つのワクチン非接種清浄地域により、アルゼンチンは、1つのワクチン非接種清浄地域と2つのワクチン接種清浄地域により、全土がカバーされている。)

更新点: タジキスタンでの口蹄疫の発生(2011年11月25日)

※ 出典: OIE(清浄国はOIE公式認定)